

関西学院大学主催
春季人権問題講演会



なぜ性の用語は だいたい横文字なのか

～ LGBTとかセクシュアルマイノリティとか

◆ 2018年5月17日(木)

- 午前11時10分～午後0時40分
場所／神戸三田キャンパス
Ⅱ号館101号教室
- 午後3時10分～午後4時40分
場所／西宮上ヶ原キャンパス
関西学院会館「光の間」

◆ 講師／^{まき}牧 ^{むら}村 ^{あさ}朝 ^こ子 氏
(タレント・文筆家)

*本講演会では手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、録音、録画を行い図書館資料として保存しますのでご活用下さい。

■講演内容

LGBT、セクシュアルマイノリティ、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、パンセクシュアル、アセクシュアルなどなど…。なぜ、一体なぜ、こんなにもアルファベットでカタカナなのか。それは「LGBT」という概念がアメリカで生まれ、日本含む各国に輸入されたものだからです。LGBTという概念の前にあったものを、虹色に塗りつぶしてしまわないために。LGBTという概念で線を引き、かえて「LGBT／そうでない人」の分断を進めてしまわないために。LGBTというチーム名を生んだ世代に直接海外取材をした牧村朝子と、一緒に振り返り、考えていきましょう。ほんとはみんな社会の中で性を生きる当事者の、「わたしたち」で。

■講師紹介

タレント、文筆家。2010年、ミス日本ファイナリストを機に芸能界デビュー。2012年渡仏、フランスやアメリカでの取材を重ねる。2017年独立、現在は日本を拠点とし、執筆・メディア出演・講演を続けている。夢は「幸せそうな女の子カップルに「レズビアンって何？」って言われること」。出演『ハートネットTV』（NHK）ほか、著書『百合のリアル』（星海社新書／2017年、小学館より増補版刊行）『ハッピーエンドに殺されない』（青弓社）ほか。

ツイッター／インスタグラム @makimuuuuuu (まきむら)

総合テーマ：

Towards the Realization
of Human Rights

— 人権保障の実現を目指して
(2015～2019年度)